



# ぎかいの窓

令和6年12月に行われた綾町議会の様子を覗いてみましょう…



## 今号の目次

- 年頭あいさつ ..... P 1
- 条例ほか ..... P 2 ~ 5
- 議決結果一覧 ..... P 6
- 一般質問 ..... P 7 ~ 11
- 議員の横顔 ..... P 12

# 令和7年 あけましておめでとうございます

本年もよろしくお願いいたします。

議会を代表して、議長と各常任委員会の委員長より新春のご挨拶を申し上げます。



議長 松浦 光宏

## 議長 年頭あいさつ

あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。町議会に対しましては、日ごろからあたたかいご支援とご協力をいただき、あらためてお礼を申し上げます。

町議会は、各議員の活動や議会の取り組みについて広く知っていただくため、綾町議会だより「ぎかいの窓」の作成、議会本会議の生中継（役場ロビーで視聴可能）、役場ホームページでの一般質問の録画配信（約40日間限定）などに取り組んでおります。

これからも議会活動の可視化はもとより、各議員の資質・活動の向上をさらに図り、町民の方々へ積極的に情報を発信・共有できる機会を設けながら活発な議会活動に取り組んでまいります。

町民の皆様におかれましては引き続き、議会へのご支援とご理解を賜りますよう心からお願い申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



委員長 山田 由美子

## 総務委員長 あいさつ

副委員長 上野 一八  
委員 中神 智光  
委員 海江田 和久  
委員 松浦 光宏

新春のお慶びを申し上げます。

町民の皆様には平素より、各議員に対しまして温かいご支援を賜り心から感謝申し上げます。

本年も、町民の皆様が安心して生活していくために必要な公共サービス、未来を担う子ども達への綾町ならではの教育、文化の継承、また、綾町を支える農畜産、林業など第一次産業に対する支援や災害に強いインフラの整備等々、町民の皆様が納めて頂いた大切な税金が、適切に、そして、効果的に使われるかを執行部（行政）と協議しながら、しっかりと検討、検証して参ります。

本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。



委員長 日高 幸一

## 文教福祉委員長 あいさつ

副委員長 興柁 智一  
委員 外山 ひろ子  
委員 橋本 由里  
委員 児玉 信

新年明けましておめでとうございます。

令和7年が良き一年でありますよう心から祈念申し上げます。

昨年度は定例議会において5名の委員で、付託された案件それぞれについて、執行部との熱い議論、意見交換が交わされ、町民の方々の負託に応えるべく奮闘努力して参りました。

しかし、まだまだご期待に添えているとは言えません。私どももより一層の精進をお誓いし、心新たに町政のために尽くしていく所存です。

みなさまからもご意見等をいただきたく思っております。町中等で見かけた折には、どうぞ遠慮なくお声かけいただければ幸いです。

本年も何卒よろしくお願いいたします。

# 12月定例議会

討論

反 = 反対討論  
賛 = 賛成討論

議案第69号

## 綾町里山環境整備基金条例

イオン九州からの環境特別WAONボーナスポイントの寄付(約500万円)を元手に環境保全活動に運用する綾町里山環境整備基金を新規制定。

**反** (外山)基金を設置することは良いが、条例に「基金は必要に応じ、最も確実に有利な有価証券に代えることができる」とあるが、どんな有価証券が明確に示されていない。また第5条の「基金に属する現金を歳計現金に繰り替えて運用する」とあるが、これでは基金設置の意味がない。

**賛** (橋本)里山とは全町を示すとのこと。雑草や倒れかけた竹などの整備が進むことに期待する。

**賛** (興梠)基金の設立自体に何ら反対するところはない。基金が弾力的に効果的に運用されることが望まれる一方で、大まかな枠組みの明文化も必要ではないか。

**賛** (海江田)高度成長期以降、山の役割が徐々に薄れ、里山は放置されるようになり、集落周辺の森林の管理放棄や竹林の荒廃、有害鳥獣被害の拡大、台風時での倒木による道路通行の支障など様々な問題が起きている。今回、里山の保全に向けて動き出すことは、綾町の理念である「自然と人が共生する町」にふさわしく、また放置竹林などの対策を講ずることで、諸問題も解決でき、里山の再生・保全につながると考える。

議案第70号

## 綾町税条例の一部を改正する条例

公益信託制度改革による地方税法改正に合わせ、個人住民税・固定資産税に関する規定について改正する。現在町内に該当はない。

**賛** (橋本)町内のNPO法人等が条例に基づく公益的な活動に活かされるよう期待。

議案第71号

## 教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて

教育委員会委員に横山槇子氏を任命するために議会の議決を求めるもの。

## 産業観光施設の指定管理者の指定について

産業観光施設(旧綾川荘、旧てるはの森、合宿センター)の運営を担う指定管理者として株式会社 宮交シティを指定する。

- 反** (興格) 書類のみの選定。書類だけならば理想的な委託先だが最後に大事なのはやはり人。株式会社宮交シティは、いちご株式会社の100%子会社であり、いちご株式会社はもともと不動産会社。その筆頭株主はいちごトラスト・PTE・LTD.で、シンガポール本社の投資ファンド。先方の真意を十分に見極め、町民の不安を払拭し、改めて議会に図るべきではないか。
- 反** (外山) 「宮交シティ」は宮崎ではネームバリューがあり信頼度も高い。しかしいちご株式会社の100%子会社である。その地域で知名度のない会社は地元でネームバリューのある会社の株を買い取り、その会社名を使いビジネスを展開していくのが通常だ。逆に話の内容ができすぎている。今決める必要があるのか。公募してから1ヶ月での書類提出は期間が短い。トピカの時と同じ。
- 賛** (海江田) 指定先のグループ会社では、現在14の幅広いグレードのホテルを運営する「ワンファイブホテルズ」を保有している点が評価できる。今後、町民に愛される施設運営はもとより、町内経済を循環するために、地元人材の雇用、地元食材の活用、地元商店街での仕入れなどに期待する。また、グループ会社での知恵を取り入れて、指定管理者としての使命と責任を果たし、昔の賑わいを取り戻して頂くことを切に願う。
- 賛** (橋本) 現状を打開するために同意する。指定管理制度に関する総務省の通知・通達に沿い、主役である町民のための運営を求める。今後の財政負担は大きいものと想定する。管理者の要望や要求には慎重に対応すること。

## 令和6年度綾町一般会計補正予算(第8号)

東諸葬祭場管理負担金、エコクリーンプラザ宮崎の運営管理負担金の不足分、障がい者福祉に係る給付金等の補正。

- 反** (外山) テゲバジャーロ宮崎との連携事業にかかる広告料300万円は看板代と聞いたが、綾町の宣伝は今でも充分だ。費用対効果があるという声もあるが、300万円を使い400万円でも綾にお金が入るのか。今までにもサッカー場やてるはドーム、町体育館を貸しているが、整備費にお金がかかっている。(そのお金は町民の税金)これまでの経験から、費用対効果についてもう少し学習すべきではないか。
- 反** (橋本) サッカー場(新富町)への広告料300万円は「その価値あり」との声もあるが、日々のくらしを思うと賛成しかねる。

## 一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

**反** (外山)9月定例会議においても、情報漏洩の処分を受けた新人職員2名の減給は妥当なのか、イエローカードで十分ではないかと言った。今回の条例によって、処分を受けた2人の新人職員は勤勉手当の成績率運用規定により減額となる。9月議会での減給を不当と思うので、減給を正規に戻した上で、実施してほしい。

### 請 願

#### 請願第2号

## 「非核平和都市宣言の町 綾町」の宣言塔(板)設置を求める請願書

朽ちてしまった「非核平和都市宣言の町 綾町」の宣言塔(板)の設置を求めるもの。

**賛** (橋本)「日本原水爆被害者団体協議会」がノーベル平和賞を受賞し、世界中から注目を浴びている。世界中でただ一つの被爆国である日本政府は「核兵器禁止条約」をいまだに批准せず、その意志さえ示していないことは残念。請願が出され、総務委員会において採択されたとの報告を受け、胸をなでおろしている。ノーベル平和賞と時を一にし、なおなお喜びが増している。早急に対応されることを願う。

**賛** (興梠)先輩方が採択された宣言であり、その意思を引き継ぎ町内外に高らかに示し、意識醸成に努めるべき。

**賛** (上野)非核平和都市宣言そのものに反対するものではないが、道路に面したところへ看板などを設置すると、維持管理の問題や、台風などで倒れた場合の対応など考えなければならない。役場壁面への懸垂幕等で対応を提案したい。

#### 請願第3号

## レプリコンワクチンの中止等の意見書の提出を求める請願書

レプリコンワクチンの中止等を求めるもの。

**反** (橋本)①接種するか否かは個々人の自由意志であり保障されている。②発症・重症化から命を守る手段。③国は安全性と有効性に関し、徹底した情報公開や説明に責任を持つことが前提。レプリコンワクチンの安全性に関し、請願者の言う特別な危険性があるとの認識はなく、接種者への新たな差別や分断を生むことを懸念。

- 反** (児玉) このワクチンについて危険性の指摘はあるものの現時点での見解としてあくまで接種は任意であることを踏まえ、綾町での接種は行われておらず疑問が残る。厚生労働省など取り扱いについては十分考慮したうえでの判断である。
- 賛** (興梠) コロナワクチンに関する諸問題の根幹は、誰も責任を取らないこと。「接種は任意」は政治的には単なる無責任。いったい誰が町民の命と健康を守るのか。議会までもがその責任を放棄することがあってはならない。主権者たる町民と日々接しているのは国会議員でも官僚でも党本部でもなく、我々だ。
- 賛** (外山) レプリコンワクチンの治験はベトナムで行われたが、さらに日本で治験を進めるようにしか見えない。

## 陳 情

### 陳情第1号

# 綾町の主要施設や町有地を活用した分煙環境整備 についての陳情

## 町の主要施設や町有地を活用した「分煙環境整備(喫煙所)」について。

- 反** (興梠) ほんものセンターでは購入した弁当の空き箱等は持ち帰っていただくことが原則。吸い殻のポイ捨ては、あくまで喫煙者の方のマナーの問題だ。たばこ税は喫煙者含めた健康増進にこそ使うべき。
- 反** (橋本) 喫煙者の減少、マナー向上もありたばこの煙に悩まされる現状はない。公有地に喫煙所をつくることは子どもたちに「ここはタバコを吸ってよい所」とのメッセージを送ることにもなり、町が喫煙を推奨しているという印象も与える。たばこ税が入るといって健康被害で医療費がかさむとも言える。
- 賛** (児玉) 地方たばこ税は昨年度綾町では5,000万円になっている。財源確保の観点もあるが町外からの観光客も多い。観光の町綾町として観光客のみなさまにも安心して喫煙ができるよう分煙設備の理解をお願いする。
- 賛** (上野) 私は煙草を吸わないが、昨今、どこへ行っても分煙施設は整備されているように感じる。綾町では分煙施設等がないため、イベントなどの際に、よく建物の影などで喫煙している人を見かける。そういった光景はあまり良いものではないと思うし、ポイ捨ての原因となっているのではと考える。きちんとした設備を整え、ポイ捨てなどがない状況を作っていただきたい。



# 12月臨時議会：議決結果一覧表

賛成：○ 反対：● 討論有：※

区分	ページ	議案番号	審議結果	議案一覧									討論				
				上野一八	中神智光	興柊智一	外山ひろ子	海江田和久	山田由美子	児玉信	日高幸一	橋本由里					
条例	2	69号	可決	綾町里山環境整備基金条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	※		
		70号	可決	綾町税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
	4	80号	可決	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	※	
		81号	可決	特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	※	
		82号	可決	議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●		
人事	2	71号	可決	教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			
その他	3	72号	可決	産業観光施設の指定管理者の指定について	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	※	
		73号	可決	令和6年度綾町一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	※	
補正予算		74号	可決	令和6年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		75号	可決	令和6年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		76号	可決	令和6年度綾町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		77号	可決	令和6年度綾町農業集落排水事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		78号	可決	令和6年度綾町公共下水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		79号	可決	令和6年度綾町浄化槽事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
		83号	可決	令和6年度綾町一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	●	※
		84号	可決	令和6年度綾町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		85号	可決	令和6年度綾町後期高齢者医療特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		86号	可決	令和6年度綾町介護保険特別会計補正予算(第4号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		87号	可決	令和6年度綾町農業集落排水事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		88号	可決	令和6年度綾町公共下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		89号	可決	令和6年度綾町浄化槽事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
		90号	可決	令和6年度綾町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○		
請願	4	2号	採択	「非核平和都市宣言の町 綾町」の宣言塔(板)設置を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	
	4/5	3号	採択	レプリコンワクチンの中止等の意見書の提出を求める請願書	○	●	○	○	●	○	●	○	○	○	○	※	
陳情	5	1号	採択	綾町の主要施設や町有地を活用した分煙環境整備についての陳情	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	※	
意見書		1号	継続審査	新型コロナウイルス感染症の定期予防接種に係る懸念についての意見書	継続審査												

町行政の基本的な考え方や問題点を議員が町長等に問いただす一般質問は5名が行いました。ご質問がある場合は各議員にご連絡ください。

議 = 議員 議長 = 議長 町 = 町長 副 = 副町長 教 = 教育長 課 = 課長



児玉議員

## 令和7年度に向けた取り組み



一般質問の様子を動画で見ると

議 6年度予算の執行状況と主な事業の成果について伺う。

町 概ね順調だ。道路改良は11月末で8億円強を発注。主な事業成果として、本年度正式に復活した照葉樹林マラソンも実行委員や多くのボランティアの参加で満足の高い大会であった。

議 敬老会は高齢化が進む中、各公民館の財政負担が増えた。現状に合った補助になるようにできないか？

町 賄い費は5年度の1,800円から2,000円に見直した。今後は状況を把握し、必要に応じ検討する。

議 敬老会対象者名簿の中には公民館未加入者も含まれるが、どう考えるか？

町 敬老会の内容は各公民館にお願いしている。出席対象者等も各公民館で判断頂き、公民館未加入者には加入推進をお願いする。

議 令和6年度の特設検診の状況について

町 11月末現在で対象者1,432人。申込者650人受診者が611人だ。現時点の受診率は42.7%だ。

議 全体の42.7%は受診率が低いと考える。特設検診で重大な病気が発覚した人もいる。町民は健康管理を自身で考え特設検診を受けてもらいたい。

議 照葉樹林マラソンは復活を希望していた。よくぞ復活し、無事終了した。今回は多くのボランティアが参加したと聞かす、予定数と実績は。

町 今回の予定数はランナーが2,500名、実際は2,600名のエントリー。ボランティアは300人の予定に対し約450名の応募。うち8割が中学生を含む町民で、若い力に支えられたマラソン大会だった。

議 令和7年度予算編成方針について伺う。

町 予算編成は、各課で対応するよう指示した。具体的にはふるさと納税寄付金の推進を図るため、さまざまな手法を最大限に活用し、財源確保に努める。歳出面は新規事業としてオンデマンド交通の導入や宮崎国スポ事業の展開、小学校体育館の補修を予定。

議 7年度予算の中で、103万円の壁の撤廃で財政負担増が予想される。103万円から178万円になったときの試算は綾町でしているのか。

町 個人住民税は令和6年度予算額2億1,000万円に対し1億700万円(50.8%)減になる。この内75%の約8,000万円は交付税で補填され、実質は2,700万円の減額になるが地方公共団体の財源不足を補うため財政措置が検討されている。

議 いちごグループからの企業版ふるさと納税1,000万円はどんな事業を実施予定か。

町 一つはスポーツ関連事業、地域活性化を図るイベント、自然生態系農業の振興に活用したい。





## ジビエ給食の提案

**議** R5年3月に始まったオーガニック給食。条例では子どもたちの教育、発育と心身の健康のため、食は重要な要素と。天然食材であるジビエはどうか。獣害対策、若手猟師育成、綾の森の恩恵含めた教育等々、複層的な効果が。政府が推奨、県内でも西米良村、五ヶ瀬町で実施。以前、ジビエ肉処理加工施設の予算があったが？

**町** R4年度に500万円組んだが、保健所の許可が下りず。現在は場所を含め検討中。

**議** 次年度の予算計上は。

**町** 猟友会会長とも話をしている。その段階ではない。

**議** 学校側の条件はどうか。

**教** 食品衛生管理法や野生鳥獣肉の衛生管理に関する指針に基づき、処理・運搬されることが前提。安定的な量の確保、調理しやすい加工が必要。

**議** 栄養面では。

**教** ジビエは牛、豚、鶏肉等に比べたんぱく質豊富、かつ脂肪が少。特に鉄分豊富。様々なミネラルもバランスよく、成長に必要な骨・筋肉の形成、免疫力の向上にも。

**議** 供給量は。

**町** 年間捕獲は猪・鹿共に約200頭。処理はそれぞれ約60～70頭程度か。販路は町内各所、ふるさと納税、各種イベント等。給食への提供頻度は現時点では不明。

**議** 授業への効果は。

**教** 綾小中学校はユネスコスクール認定校。①食に関する深い知識の習得。狩猟、処理、調理が一連の流れ。②地域社会への理解と貢献。自然との共生が抱える課題を主体的に考える機会に。③環境問題への関心と行動。生態系を学び、SDGsと結びつけて授業を。④生命の尊厳と感謝の気持ちを学ぶ機会に。ユネスコスクールとして大変意義がある。

**議** 給食費への影響は。

**教** 若干。調整は可。

**議** 獣害対策、猟友会への効果は。

**町** R5年度の被害は町内全体で約1ha、約370万円。猟友会活動の活性化など様々な効果を期待、施設整備を前向きに検討。

## 南俣保育所の今後

**議** 町立南俣保育所、現在14名が通所。少人数では適切な社会性を育むことへの懸念が。財政にも負担。大きく方針を変えては。いわゆる自然派と呼ばれる保育園、子どもは自然の中で伸び伸びと遊んだほうが成長に効果的の考えの下、木造建築、食材のこだわり、手作り工芸品の食器、自然な園庭樹など。望む声は少なくない。公立保育所の経営方針は。

**教** 町の未就学児童は10月1日現在で5歳児52名、4歳児42名、3歳児37名、2歳児50名、1歳児29名、0歳児28名。2つの私立幼保育園で現在90%超の入所率、公立は中坪67%南俣19%。公私立幼保育園の合同運動会の開催などを検討中。統合も含めた公立の在り方、子育て支援センターや病児・病後児施設との連携なども含め検討。

**議** 中坪に偏った児童数、改善策は。

**教** 基本的に保護者の意向。老朽箇所改修も検討、工事中南俣での合同保育も。

**議** オーガニック給食、公私立保育所での適用は。

**教** 公立は基本的に地産地消中心で。母体のワーキンググループに保育所関係職員が参加、町内保育施設全体での実施を今後検討。

**議** 条例でオーガニック給食の対象を町内の保育施設等と明記、速やかな実施を。質問に先立ち4ヶ所の保育園を視察、綾はできる条件がある、なぜしない？と逆に聞かれた。町外先進施設へ保育所職員の積極的な研修を。

**教** 研修・環境づくりについては全く同感。公立保育所のHP開設は早急に。

**議** 南俣の空き部屋で児童発達支援事業は可能か。

**教** 厚労省ガイドラインによれば現段階では難しい。検討課題。ふるさと教育を核とし、未来のまちづくりを担う人材の育成を行いたい。現時点で大きな方針転換はないが、綾町の特色を生かした保育事業は当然必要。それら含めて教育改善していく。



橋本議員

## 「タクシー券」必要が町民の声



一般質問の様子を  
動画で見る

議 「タクシー券は、ぜひ残して！」この声に応えて欲しい。

町 タクシー券をなくすとかいう決まってもいない不正確な情報が流れている。

議 同感。私も「決定してはいない」とした上で町長が答弁した事を伝えている。

町 オンデマンド交通の対象はタクシー券交付地域の第3・4地区の70歳以上と外出支援バス利用者で現在約20人程度だ。実証実験は、この3月からで検討。まず軽自動車1台、1ボックスタイプの送迎用の車3台の予定。第1-2地区はこれまで同様、申請者にタクシー券を配布予定。

第3-4地区はこれまでの半分位のタクシー券を配付し、新年度はタクシー券・デマンド交通を併用しながら実証実験する。利用者の意見を聞き本格的導入に進む。

議 土曜・日曜・祝祭日の運行、車椅子での乗車への懸念もある。

町 さまざまな課題は検討チームで協議中。何にどれほどのニーズがあるか見極めも必要。タクシーもすぐには来ない。身内の協力、救急車の活用、迷ったら相談窓口を利用するなど含めて検討する。

議 高齢者団体からも意見を聞きとって検討を。

町 社会福祉協議会と検討を重ねている。さまざまな声も聞いている。実証実験を通して問題点をできる限り解消するよう検討するが100%が難しいときは理解を得られるようきちんと説明する。

議 町外医療機関受診の送迎は協議が進んでいるのか。

町 町内オンデマンド交通をしっかりと運行した上で、町外通院者への巡回バスも視野に入れ方策を形にしたい。高齢者の移動手段の確保は実現していきたい。

### 少人数学級実施を

議 子どもたちを取り巻く環境をみても、少人数学級実現は重要だ。特に小学校での町費教員の雇用は必至。

町 当年度2名の町費講師を求めたが応募がない。慢性的な講師不足だ。対策を講じる。

### 綾町の避難訓練はここから

議 11月4日実施の南海トラフを想定した避難訓練の報告(参加者数、参加者の意見感想、要望、課題など)を求める。

町 一斉避難訓練参加者728人、展示体験129人、のべ857人参加。非常用持ち出し袋の持参66%。立町地区は持ち出し袋持参者が多かった。家族などと集合場所や連絡方法等の確認は70%の家庭で実施。参加者の声は、①地区の名簿、要支援者の名簿の作成。②発電機の使用法の周知。③危機的な状況が起きた時に各地区でどう対応するのかの検討・確認。④消火栓の場所は住民も把握しておくべきとのことだった。

町としては8年ぶりの避難訓練であり、不慣れな点はあったが多くの参加があった事は評価できる。

議 各家庭・生活環境により、指定避難場所が本当に適当なのか検討が必要。福祉避難所の開設も検討すべきであり、具体的な訓練の必要がある。

町 今回は意識の醸成が一番の目的。これを続けて今後はひとつブラッシュアップしていく。また、大雨・台風・線状降水帯も想定し、避難の仕方の違いも訓練したい。必要ならば「てるはドーム」の活用もある。

### 町内の雑草 何とかしたい

議 町道や里道は雑草がひどい。町道管理は道路法で道路管理者(町長)の責任だ。

町 例年以上に対応している。地球沸騰化の中、行政だけでは対応できなくなっている。クレームや要望は減っている。町民自身で美化活動に努めてほしい。議員も自分事として考えてほしい。

議 環境整備のための提案もしている。町内観光地も草が伸びて道路を狭くしており安全通行上も問題だ。

町 町全体で起きている。順番に実施する計画もある。3年かかる状況だ。提案は自分も持っている構想だ。

他に水道料金値上げと検針の工夫、  
庁舎ロビーと中学校体育館のトイレ改修、  
介護ヘルパー不足による影響  
について質問した。



上野議員

## 小規模多品種栽培農家の現状とこれからは



一般質問の様子を  
動画で見る

**議** 夏の酷暑と10月の長雨の影響や獣害により、今年秋野菜の収穫が大幅に減ったと聞く。ふるさと納税では返礼品の71.57%が有機野菜を中心とした農産物である。ほんものセンターでは納品された野菜を返礼品として送っていたこともあってか、売り場に野菜がないという状況が起きた。町外から綾町に来る方の多くは、ほんものセンターへ立ち寄り、野菜を購入する。野菜がないと綾町へ足を運んでいただけなくなる恐れがあり、町の発信基地としてのほんものセンターの魅力が失われてしまうのではないかと心配だ。

**町** まず基本的に10月、11月は野菜が少ない。だから町外から来られて野菜がないねと言われても、もともとない時期であり、野菜以外のものを買っていただくしかない。ほんものセンターは基本的に商工振興会へ運営をお願いしている。可能な限り現場を見ながら、野菜の出荷が少ない時にはふるさと納税の受付を制限するなど連携・対応をしている。

**議** 少量多品種を栽培されている小規模農家では、著しく収量が少なく深刻な状況だと聞く。こういった農家は保険にも入れず、経営が非常に厳しい。町としての対応は。

**町** 生産が少ない分は値段を上げれば、生産者へお金が回っていく。一番の問題は消費者へ生産者の状況が届いておらず、理解していただけないこと。生産者の方には常々伝えているが、良いものを作ることに専念いただきたい。そこから先はイオンであったり、グリーンコープであったり、買っていただく工夫を一緒になって取り組む。また、このデフレで消費者が安値に慣れてしまっているため、ほんものセンターへ出荷している生産者も値段を上げることに臆病になっている。ぜひ作ったものに自信を持ち、値段をつけてもらいたい。ただ、売れ残ったものは持ち帰りなので、そこへの対応は検討する必要がある。

**議** 売り先の確保や、値段の付け方についての考えは分かるが、そもそも売れるものがない状況。種まきも

何度もやり直し、育ったかと思うと猿やイノシシの被害に遭う。そういった農家に売り先を確保したから出してくださいと言えるのか。こういった農家は今後の農業の継続にも大きな不安を感じている。なんらかの対応をしないと小規模農家はなくなってしまうのではないかと。

**町** 天候による影響で収穫量がどうなるのかは分からない。獣害に関しても皆が同じ状況である。だから作れないというのであれば、農業も一つのビジネスなので、いろんな方に相談をし、生産量を上げるとか、価格を上げていくという工夫をしながらやっていくものだと考えている。

**議** 露地で栽培をされている方は、天候や獣害などの影響を非常に受けやすい。規模が小さいために保険にも入れず、収穫できなくても補償もない。そういった方々に対して今後も農業が継続出来るように町として支援は出来ないのか。

**町** 小規模で露地栽培をされている方の中には自分で販路を見つけて高い値段で売っている方もいる。オーガニックスクール生であれば、グループに入っただけで販路や価格についてはある程度担保できるが、今すぐ特効薬的なものはない。

**議** 今回の町長とのやり取りで、今の段階では町は何も対応出来ないということが分かった。このままでは今後農業を辞めてしまう方も出てきてしまう恐れがある。今後も町に対して求めていきたい。

**議** 小規模農家の現状については聞いている。また露地日向夏が今年は7~8割減収になるとの声もある。そのような状況に対しての対策をいまは持ち合わせてないが、今後検討していきたい。

他に  
味噌の可能性について  
国スポ「綾モデル」の詳細について  
質問しました。



外山議員

## ブラジル行きは適切だったのか!



一般質問の様子を  
動画で見ると

### タクシー運転手の意見

**議** タクシー券が減れば売上げも減る。売上が減れば給料も下がり宮交も撤退し、運転手も辞めざるを得ない。最悪の事態が起こる前にオンデマンド実証実験と既存のタクシー券を併用しては。

**町** それでは実証実験の意味が全くない。利用率などを考慮している。

### 小学校給食体験後家に帰ったらお腹がすいた

**議** 他校の給食献立と比較すると、一品増やしても良いのでは。

**教** カロリー計算していて献立を作っているが、専門的内容を知りたいなら、直接栄養教諭に質問を。

**議** 元PTAの方から午前中5時間は、保護者が朝食を子供に食べさせないからと聞いたが。

**教** 全くそれは当てはまらない。

**議** この話を小学校長に伝達して欲しい。

### 地区敬老会・公民館文化祭で多くの町民は敬老年金に

**議** 議員には言いやすいが町長には言いにくい。ふるさと納税で頑張つて敬老年金に。

**町** 敬老祝い金を継続する。残念ながら私に直接来て話す人はいない。

**議** やはり言いにくいので、町長から町民に声掛けを。

### 割付の砂防ダムとは

**町** 割付地区は土砂災害警戒地域に指定。下流域の人家に被害を及ぼす為砂防ダムを設置。

**議** 日向夏みかん畑とイオンの森で環境省共生サイトに認定。認定の一つに、日向夏みかんの受粉を媒介するニホンミツバチが多く生息している。その畑に造られるが。

**町** 影響が全くないとは考えていない。

### 町長がブラジルに町職員1名と民間数名を随行?

**議** 役場職員が町長に同行したと聞いたが、本当なのか確認したい。

**町** 私は議会で皆さん方に正確な情報を答え、私を含め議会にいる方々が、町民から違った情報を聞かれた際に、訂正し正確な情報を伝えて頂きたい。

**議** 町長は議会で言ったことが正しいと言いつつ、町民の方は町長の口から自費で行ったという話を何件か聞いた。

**町** 私が言った記憶はないし、町民の方にもそんな話を一言もしていない。今言ったような伝言ゲームみたいな形になって間違いが伝わっている。

**議** 州知事や市長、日本総領事などと面談されたが写真も撮られたのか。今回の難山では4名の方しか載っていない。また、招待状はないのか。

**町** 写真はある。ブラジルに行った経緯等、特集(広報紙)を組んでもらいたい。

**議** 招待状はイビラス禅光寺の50周年記念の招待状、お寺の招待状で町長は行ったのか。

**町** はい。

**議** 結局、メインのブラジル宮崎県人会創立75周年には出席していない。禅光寺の招待状は見えにくいコピーで、ファックスで送られてきたものをコピーしたように黒い。招待状は正式なものなのか。

**町** 正式の物をコピーし渡した。75周年の記念行事から行くと1ヶ月くらい必要。行政の長として考慮し最後の式に出席。

**議** 町長のブラジル行きの行程はいつか出すと9月議会で言ったがその行程、町長が会った州知事、市長、日本領事館の方々との写真、招待状も私たちに見せてほしい。

**町** 日本領事館の招待状はない。現地の日系人等の方々が設定し、4人で会議した。行程表については意味がない。

**議** 私は大変興味がある。9月議会で報告は出すといつた。

**町** 職員は見る事ができる。外山議員に渡す必要性はない。もう勘弁していただきたい。

他に 役場職員研修の在り方、  
中学校の渡り廊下補修、  
中学生のバス補助金は必要なのか  
等について質問しました。

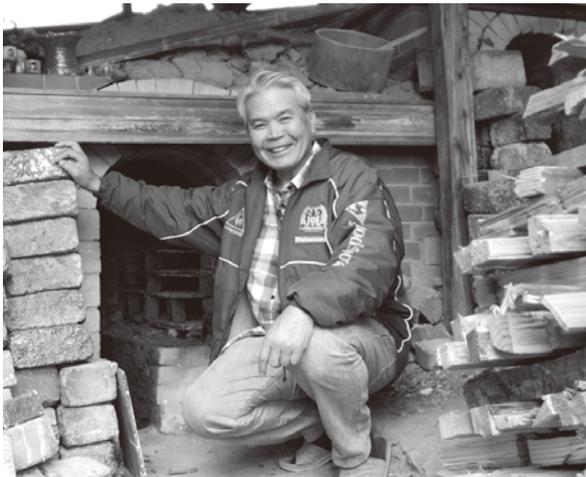
# 議員の横顔

10名の議員の  
普段の顔を紹介しています。

議員というと、少し遠い存在に感じてしまいがちですが、このコーナーを通して身近に感じてもらえたらと思います。

## 日高 幸一 議員(5期)

生年月日 昭和30年9月13日  
家族構成 妻  
昭和地区



### ・議員以外での仕事は？

陶芸(元町陶苑)をしています。

### ・陶芸を志したきっかけは？

高校生の頃、近所の川村賢一さん(綾川陶苑)との出会いから。小石原焼に修行に出たのが23歳の頃です。

### ・こだわりは？

自分の体一つでモノを作り出す喜び、世界でただ一つのものを作る喜び。それらを感じ、感じさせられるモノを作ること。

### ・これからの抱負は？

まだまだ新しい発見があります。初心を忘れず、生涯現役を続けたいです。



## 外山 ひろ子 議員(1期)

生年月日 昭和31年 8月3日  
家族構成 母、妹  
東中坪地区

### ・いつも移動は？

自転車を使用しています。町内をよく移動していますので、見かけたら声をかけてください。

### ・この写真の場所はどちらですか？

商工会館の前です。ここの1階でよく勉強をしています。

### ・綾の好きな風景は？

綾南川の堤防から眺める小学校の桜並木の景色。

### ・日ごろの楽しみは？

綾町は昔から行事が多いが、それに参加するのが楽しみ。毎年全部の行事に参加することを目標にしています。



## 表紙について

上畑の「パン工房綾」を主宰され、令和3年に亡くなられた小川渉さんの写真を特別にお借りしたシリーズも今回で最後となります。私が最初に小川さんとお会いしたのは27年前のこと。当時、鉄塔問題で町を2分する議論が起こり、町長選挙にもその影響が色濃く出た時期です。物静かに語る姿勢とは裏腹に、瞳の奥には確固たる信念と揺るぎない自信が感じられました。早速パン工房にお邪魔をし、小川さんが焼いたパンとコーヒーで、色々とお話を伺ったことが懐かしく思い出されます。(興梠)



## 議会報編集委員会

12月26日(木)、1月9日(木)

1月14日(火)、1月15日(水)



## 一般質問の 動画配信について



今回の議会も一般質問の様子を動画配信しています。役場ホームページから視聴可能です。ぜひご視聴ください。



## 編集後記

令和7年が始まりました。昨年元旦の能登半島地震という大変ショッキングな出来事で幕を開け、今年は大丈夫だろうか？と思っていたところ、13日に地震があり、いよいよ南海トラフ地震が迫ってきているように感じます。

さて、この「ぎかいの窓」も、新しい編集メンバーとなって今回で8号目となりました。年度明けには誌面デザイン等もリニューアルしたいと考えておりますが、なかなかその準備も進んでいないところです。

一人でも多くの方が手に取っていただき、読んでいただける内容や誌面デザインをこれからも追求してまいります。

編集委員の励みとなりますので、ご意見・ご感想、または叱咤激励などお気軽に町のホームページからお寄せください。

本年もよろしくお願いいたします。(上野)

## 発行／宮崎県綾町議会

宮崎県東諸県郡綾町大字南俣 515 TEL:0985-77-2947

発行責任者／【綾町議会議長】松浦光宏

議会報編集委員会／【委員長】上野一八 【副委員長】興梠智一 【委員】橋本由里、外山ひろ子、中神智光、海江田和久